

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 27日

事業所名 Plus+days堺校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	2つの大きい部屋を用途別で使用している	
	2	職員の配置数は適切である	83%	17%	管理者が必要	・管理者は配置していますが、さらに児童指導員補充したい為求人掲載中です。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	67%	33%	所々の段差が気になる	・段差のある所に目印テープ張る等検討中です。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	83%	17%		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	67%	33%		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	PAスタッフの機会が少ない	・定期的に研修参加のお声かけはしていません。今年度は内部研修も開催したいと思います
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	83%	17%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	83%	17%		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	狙いを定め、内容や援助を立案している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	83%	17%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	67%	33%	集団活動をもう少し多くしても	・集団活動も増やしたいとは思いますが、スペースの関係で限界はあります。必要に応じて、間仕切りを外す等し行いたいと思います
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	33%	67%	集団活動の際は細かくチェックしている 個別活動の際はできていないことが多い	・当日勤務いただくPAさん含め、必ず説明をする様にしています。個別に関しては出来ていないので必用に応じてしていきたいと思います。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	50%	50%	毎日できていない	・職員は当日または、翌日午前中に必ず出来ているが、PAさんとは出来ていない為検討したいと思います。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	ファイルにまとめたり、連絡帳の写しを残したりしている。	・必ず当日の記録(子どもたちの変化等も)はとっています。出勤していないPAさん見ることが出来るようにしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	83%	17%		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100%	0%			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	67%	33%	場合によってはより相応しい人がいけなかったりする	・なるべく全ての職員に参画してもらいたいと思います。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	83%	17%	少しの変更も連絡するようにしている	・保護者を通じて、また学校HP閲覧等しなるべく情報を得るようにしています。必要に応じて直接学校に問合せするようにしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	50%	50%	該当児童なし→今後あれば対応したい	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	50%	50%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	50%	50%		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	17%	83%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	17%	83%	他とのかかわりがあまりない印象	・児童館との交流には課題がある為まだ出来ていません。まずは近隣地域の方との交流をしたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	17%	83%	他とのかかわりがあまりない印象	・自立支援協議会との関わりはあまり出来ていません。今年度は参加したいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時など、少しの時間にも伝え合うようにしている	・送迎時にはなるべく職員が行くようにし、保護者とお話するよう努めています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	50%	50%		・ペアレント・トレーニングは出来ていません。今後検討したいと思います。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		・契約時の必ずご納得いただくよう説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	83%	17%		・利用児童だけでなく、ご兄弟やご家族さんの事で相談が時々ありますが、知りえる情報提供等を行っています。Plusdaysで出来る事の提案もさせてもらい安心して子育てが出来るようご協力しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	17%	83%		・今年度は、年2回の保護者会を予定しております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	83%	17%	紙媒体の配布、SNS等の発信、共に行っている	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	写真等は個人が特定できないようにしている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	17%	83%	地域とのかかわりは少ない	・地域との交流は出来ていないので、近隣の方との交流機会を検討したいと思います。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	67%	33%		・定期的には出来ていないので、今年度は保護者会開催時等実施肢体と思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	83%	17%		・避難訓練は、年2回開催しています。子どもの利用回数が少ない児童やPAさんなど来ていない方への周知の徹底を行いたいと思います。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	83%	17%		・今年度、年2回研修予定しております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	83%	17%		・虐待研修開催時に、身体拘束についても研修したいと思います。やむを得ず身体拘束行う場合は保護者に説明し、「個別支援計画」にも記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	83%	17%		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	細かい発見も付箋でホワイトボードに纏めている	・ヒヤリハットについては、日々付箋に記入し皆が見えるようにしています。報告書が必要な時は都度作成しています。